オレオレ Lua LATEX テンプレートの使い方

易 翠衡 (@yicuiheng) 2021/6/16

1 ビルド方法

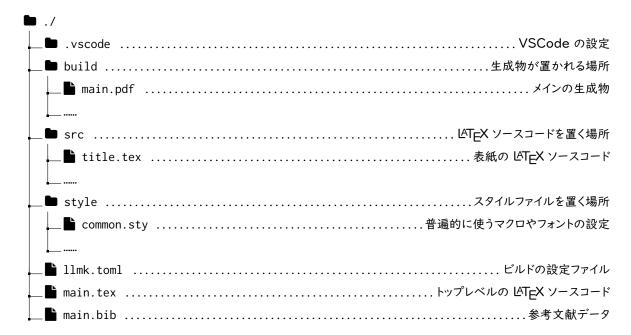
ビルドには $IImk^{*I}$ を使っています。IImk のおかげで LAT_{EX} コードのビルド手順を TOML 形式で記述することができます。その他にもなんか色々とデフォルトの設定をモダンなかんじにしてくれてます。 LAT_{EX} に詳しくない筆者は取り敢えず IImk を使って LAT_{EX} 詳しい人が選んだモダンな設定におまかせしています。

この プロジェクトをビルドするにはプロジェクトディレクトリで

```
</> bash
$ 11mk
```

を実行してください. Ilmk が ./llmk.toml に基づいて ./main.tex をコンパイルしてくれます.うまくいけば ./build/main.pdf が生成されるはずです.

2 ディレクトリ構成



3 フォントなど

地の文には UD デジタル教科書体を使っています.

あのイーハトーヴォのすきとおった風、夏でも底に冷たさをもつ青いそら、うつくしい森で飾られたモリーオ市、郊外のぎらぎらひかる草の波。

―――宮沢賢治『ポラーノの広場』より―――

The quick brown fox jumps over the lazy dog

^{*} https://github.com/wtsnjp/llmk

数式には STIX2 フォントを使っています.

$$\int_0^{\pi} \sin x \, dx = 2$$

$$\sum_{n=1}^{\infty} \frac{1}{n^2} = \frac{\pi^2}{6}$$
(1)

$$\sum_{n=1}^{\infty} \frac{1}{n^2} = \frac{\pi^2}{6} \tag{2}$$

4 数式関連

定理環境をそれぞれ用意しています.

定義 4.1: なにかの定義

なんとかかんとか

補題 4.2: なにかの補題

あんじゃらかんじゃら

証明 定義 4.1 より即座に成り立つ.

(証明終)

定理 4.3: なにかの定理

なんじゃらほい

証明 これを証明するに先だって次の補題を証明する.

補題 4.4: スーパーなにかの補題

スーパーあんじゃらかんじゃら

証明 内側の証明だよ~

(証明終)

補題 4.2 と 補題 4.4 より成り立つ.

(証明終)

これらの環境は ぱるちさんのブログ記事「tcolorbox のお誘い」 *2 と「ぼくのかんがえたさいきょうのゼミ用 TeXスタイル」*3 を参考にして tcolorbox で作っています.

^{*2} https://marukunalufd0|23.hatenablog.com/entry/20|9/03/|5/07|7|7

^{*3} https://marukunalufd0123.hatenablog.com/entry/saikyou1

5 プログラミング関係

プログラムのフォントには inconsolata を使っています.

インラインコードの例: \code{hoge + fuga = piyo} で hoge + fuga = piyo と表示されます. 複数行にまたがるコードの例:

```
func main() {
   let a = 12
   let b = 30
   a + b
}
```

6 参考文献関連

参考文献には biber *4 を使っています。ようわからんけど bibtex の代替だそうで、ナウくて柔軟性があるらしいので採用しています。

^{*4} http://biblatex-biber.sourceforge.net/